

**製品名: PHAX ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16057**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PHAX
別名	PHAX; RNUXA; Phosphorylated adapter RNA export protein; RNA U small nuclear RNA export adapter protein
遺伝子 ID	51808.0
SwissProt ID	Q9H814
免疫原	抗血清はヒト RNUXA 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

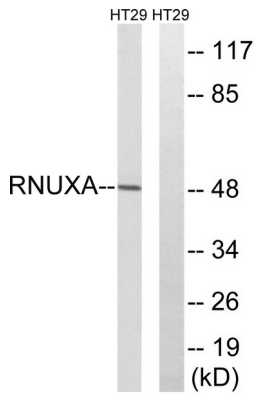
**背景**

機能: XPO1 を介した U snRNA の核外輸送に関与するリン酸化タンパク質アダプター。U snRNA の輸送に必要な橋渡し成分とし

て、キャップ結合複合体 (CBC) に結合した snRNA と、活性型 GTP 結合型の GTPase Ran および輸送受容体 XPO1 を橋渡しする。核内でのリン酸化は U snRNA 輸送複合体の組み立てと輸送に必要であり、細胞質内での脱リン酸化は輸送複合体の分解を引き起こす。輸送受容体であるインポーチン  $\alpha/\beta$  を介して核へリサイクルされる。核輸送の方向性は、GTP 結合型および GDP 結合型の Ran が細胞質と核の間で非対称に分布することによって決まると考えられている。また、リン酸化サイクルの区画化も輸送の方向性に寄与している可能性がある。m7G キャップされた U1 および U5 核内低分子 RNA (snRNA) に、配列非特異的かつリン酸化非依存的に強く結合する (類似性による)。また、U3 核小体低分子 RNA (snoRNA) の生合成にも関与する。U3 snoRNA の核質からカハール体への輸送に関与する。m7G キャップされた U3、U8、U13 前駆体 snoRNA に強く結合し、トリメチル化 (TMG) キャップされた U3、U8、U13 snoRNA には弱く結合する。テロメラーゼ RNA にも結合する。PTM: 核内でリン酸化される。細胞質内で脱リン酸化される (類似性による)。DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。PTM: DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性: PHAX ファミリーに属します。細胞内位置: 核質とカハール小体に存在します。核と細胞質の間をシャトルします。核質とカハール小体の間をシャトルします。サブユニット: PHAX/RNUXA、NCBP1、NCBP2、RAN、XPO1、および m7G キャップ RNA とともに U snRNA 輸送複合体で見つかります。PHAX/RNUXA、NCBP1、NCBP2、および m7G キャップ RNA との前複合体の一部です。NCBP1 と相互作用します (類似性による)。snoRNA との複合体で見つかります。機能: XPO1 を介した U snRNA の核外輸送に関与するリン酸化タンパク質アダプター。U snRNA の輸送に必要な橋渡し成分であり、一方ではキャップ結合複合体 (CBC) に結合した snRNA、他方では輸送受容体 XPO1 と共に活性な GTP 結合型の GTPase Ran である。核内でのそのリン酸化は U snRNA 輸送複合体の組み立てと輸送に必要であり、一方、細胞質内でのその脱リン酸化は輸送複合体の分解を引き起こす。それは、インポーチン  $\alpha/\beta$  ヘテロ二量体輸入受容体を介して核へリサイクルされる。核輸送の方向性は、細胞質と核の間での Ran の GTP および GDP 結合型の非対称分布によって付与されと考えられている。その区画化されたリン酸化サイクルも輸送の方向性に寄与している可能性がある。m7G キャップされた U1 および U5 核内低分子 RNA (snRNA) に、配列非特異的かつリン酸化非依存的に強く結合する (類似性による)。U3 核小体小 RNA (snoRNA) の生合成にも関与しています。核質からカハール体への U3 snoRNA の輸送に関与しています。m7G キャップされた U3、U8、U13 前駆体 snoRNA に強く結合し、トリメチル化 (TMG) キャップされた U3、U8、U13 snoRNA には弱く結合します。テロメラーゼ RNA にも結合します。PTM: 核内でリン酸化されます。細胞質内で脱リン酸化されます (類似性による)。DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。PTM: DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。類似性: PHAX ファミリーに属します。細胞内位置: 核質とカハール体にあります。核と細胞質の間を往復します。核質とカハール体の間を往復する。サブユニット: PHAX/RNUXA、NCBP1、NCBP2、RAN、XPO1、m7G キャップ RNA を含む U snRNA 輸送複合体に存在。PHAX/RNUXA、NCBP1、NCBP2、m7G キャップ RNA を含むプレ複合体の一部。NCBP1 と相互作用する (類似性による)。snoRNA との複合体に存在。

## 研究分野

## 画像データ



RNUXA 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。